

水稲・大豆害虫発生状況速報

平成30年7月26日発行

○フェロモントラップ・すくい取りによるカメムシ発生状況調査結果

単位:頭

調査地点	調査月日	水田畦畔	
		成虫	幼虫
光珠内中央	7月25日	1	1
光北下中ノ沢	7月25日	2	0
光珠内北(山側)	7月25日	0	0
峰樺	7月25日	6	6
豊葦	7月25日	0	1
岩峰	7月25日	0	40
中小屋西	7月25日	0	2
中小屋東	7月25日	0	16
上美唄	7月25日	0	5

現在は加害期間ではないものの水田畦畔での発生が確認されています。小麦収穫後圃場やイネ科緑肥圃場からの飛び込みも想定される為、速やかに鋤込みを行うと共に隣接圃場については早めの防除を実施して下さい。

○フェロモントラップによる大豆マメシンクイガ調査結果

単位:頭

地域	品種	7月25日	8月1日	8月8日	累計
光珠内北(山側)	ユキホマレ	69			69
光珠内北	ユキホマレ	73			73
峰樺	ツルムスメ	84			84
豊葦	ユキホマレ	273			273
豊葦	トヨムスメ	88			88
岩峰	ユキホマレ	40			40
中小屋	ユキホマレ	294			294
上美唄	ユキホマレ	145			145
合計		1066			1066
平均		133.3			133.3
前年平均		131.5	120.8	40.4	

大豆は現在生育が進行している圃場でも開花始となっており、加害期間ではありませんが、開花後約1週間程度で着莢期を迎える見込となっています。捕虫数も多い為、開花一週間後には基幹防除を実施しましょう

○大豆マメシンクイガの防除薬剤

回数	薬剤名	使用倍率	使用回数	備考
1回目	プレバソフロアブル	4000倍	2回以内	展着剤加用
2回目	バイスロイド乳剤	1000倍	3回以内	カメムシにも効果有り
3回目	エルサン乳剤	1000倍	2回以内	カメムシにも効果有り
	プレバソフロアブル	4000倍	2回以内	展着剤加用

※ 農薬散布の際にはドリフトに充分ご注意下さい。また、現在、小麦の収穫が行われています。収穫物出荷の際には栽培履歴の提出をお願い致します。

JAみねのぶ 営農販売課

TEL 0126-67-2334 FAX 0126-67-2803